

有宵会だより

第83号
発行所
特定非営利活動法人
岳易館・有宵会
編集 広報部
松戸市新松戸1-64

九星と易断による

十月・十一月の運勢

気学では戌十月

十月八日（寒露）節入り

ア
天道
生気

8	4	9
7	9	2
3	5	1

破

気学では亥十一月
十一月七日（立冬）節入

生気

破
天道
ア

7	3	5
6	8	1
2	4	9



一白水星の人の運勢

十月筮―坤為地の初六

十一月筮―沢山咸の九三

十月は平穩を欲しているが雑事多し、何事も急ぐと損を伴う。交際面は相手に合わせて安心、上長の助言と引き立て生ず。仕事は確実に進め、金銭は明瞭にする。体調は疲れと喉咳、胃食道もたれ。

十一月はご機嫌よく気楽さを保つ。外出や買物の楽しみ、家庭内の方針は進めて良い。仕事は利に走らず安全策。愛情面仲良く睦み合う。体調は歯の具合、風邪の対策。

二黒土星の人の運勢

十月筮―火天大有の六五

十一月筮―震為雷の六三

十月は物事の成就に努めていく。わが家の計画は時機到来の喜び、仕事は充実さで実績上げる。儲け話に慎重に、遠方からの便りや海外の話題に安心。噂は流す。冷えと下痢、血圧に血糖値。

十一月は調子に乗っての遣り過ぎか。公私には分相応が良く、婦人の力を借りて好転す。仕事は改善策が的中す。人のペー

スに合わせるが不意の出費。筋肉関節、循環器。

三碧木星の人の運勢

十月筮―火雷噬嗑の六二

十一月筮―風山漸の上九

十月は活気溢れるタイプと停滞気味のタイプあり。何事も状況判断を静かに観察。日頃の言動はメモ事の種になりやすい家族の絆を大切に。仕事と金運の動きは無事。心身の疲労、神経、腎系。

十一月の運氣は徐々に上がる。志望の叶う道進め吉。日頃の努力が実を結ぶ。願いが届くので期待多し。古い問題蓋を閉めて浪費をふせぐ。目と歯、血圧と血流を守る。

四緑木星の人の運勢

十月筮―火水未済の六五

十一月筮―地山謙の九三

十月の風は南から吹く

前半不調でも後半復活し我慢をすれば末吉。地道な努力を重ね仕事伸びる。対人面の気配り、未解決処理に手掛かり、予定の変更や過失が生じる。頭痛、視力、血管血圧原因。

十一月運は慎重さの中に希望が叶う面が近づく期待。自由気儘に振る舞うと好運逃げる。仕事進行早める。家族の買物は決断で買う遣り繰り金運疲れ、足腰、風邪に用心。

五黄土星の人の運勢

十月筮―雷沢帰妹の九二

十一月筮―雷風恒の九四

十月は背伸びせず強気を控える。自分のペースにならず焦る。計画実行枠を絞る。仕事は複数で処理して安全。小言は相手を選んで言うこと。団

結不足と収支の波が大。視力、頭肩凝りの疲れ。

十一月は積極策より現状維持、身辺周囲は変らず。人集まる所で実力発揮、子孫や目下の問題答えださず待つ。仕事マン

ネリ我慢と金運先延びる。体調無事、食養生が大切。

六白金星の人の運勢

十月筮―山風蠱の上九

十一月筮―水山蹇の六四

十月は日々冗漫さが続く改めてみたい。厄介な問題は不納得ながら結論を出す。仕事は平凡でも高額品の出銭あり。交際は新旧交じるので気配り文殊の知恵が効果的。胃腸疲れ、持病、肩膝痛。

十一月は前進したく気合が入るが焦りは禁物。好運が来たら素直に受容を。仕事は書類多く確認私事は柔軟さでリードし出費を抑える。去る者は追わず。足腰と神経用心。

七赤金星の人の運勢

十月筮―乾为天の上九

十一月筮―巽為風の九五

十月は最近の縛りから脱ける。独断にならず周囲の意見を聞くこと。節度を守り信頼を増す。仕事の企画は時期尚早と見る。運転や機械操作などミスと散財に用心。の

どせき、腓返りは鍛錬。

十一月の運氣は好運さを伴うが油断から失うもの用心。交際面は地味心掛け。仕事は多忙でも仕

上げが大切、失言と金運の乱れに注意。体調は風邪から熱、大腸軟弱か。

八白土星の人の運勢

十月筮―天火同人六二

十一月筮―乾为天の九三
十月は安定を求めるとき。好事魔多しで不利益な用件、情のかけすぎで誤解生む。諸事に堂々と取り組めば無事。人情と義理の間に入り気を揉むときです。貯蓄方針吉。

足腰、皮膚、頭痛に対処。
十一月は活気があれど無駄用事が多い。旧習を守り新規プランは先延ばす。仕事の不満は仕事で返す本業中心に励むこと。見栄や体裁にこだわらず。腰痛、循環器、持病再発。

九紫火星の人の運勢

十月筮―雷水解の六三

十一月筮―水沢節の六三

十月は案ずるより産むが易しで上手に治まる。生活のリズムを維持、安請合いをしない。家族への思い遣りと本音の会話大切に。仕事は見込み違いと薄利。人の情の嬉しさあり。疲労回復第一に。

十一月運は日頃の真価を問われるが実績好評。リーダーシップを発揮して問題処理、重要なことは書面に押印確認、仕事は粘り強く能力生かし吉。

気苦労、歯痛、胃腸など。

福田有宵

七月有宵会報告

久保田 恵都子

平成二十九年七月二十二日（土）、足立区勤労福祉会館ブルミエに於て、午後一時十五分より第八回〇法人岳易館・有宵会定期総会（有宵会設立二十二年目）と、例会が開催されました。慣例により議事、司会進行は佐藤宗眩先生です。牧野有峰先生の開会のことばで総会が始まり、福田有宵理事長挨拶の後、各役員による平成二十八年度活動経過報告、会計報告・会計監査報告。平成二十九年度の活動計画（案）、収支予算（案）の説明がなされ、出席者全員からの賛同承認を得られ無事終了致しました。佐藤先生より、平成二十九年は役員の改選年に当り、新旧理事の交代が発表されました。新任理事には（敬称略にて発表）河野有泉、八川林加、前田龍徳、岩崎紀子、福田有倭。鑑査役に今中陽子、事務局担当に八川林加、岩崎紀子、福田有倭。〇〇法人岳易館・有宵会幹事に今中正子様。新事務局長に

八川林加。以上の方々が総会決議で承認されました。尚二十数年の長きに渡り、理事・会計・事務局長として会を牽引してくださいました伊藤璃香先生は、新事務局長に任務を託され今後は理事として専念されることになりました。今迄お疲れ様でした。会員一同心より感謝と御礼を申し上げます。



例会講演
開運、幸福、願い

福田有宵



今日は「病、貧、相」「四苦八苦と百八煩惱」「百一、四百四病」についての話をします。開運

は、病・貧・相とこの三文字に尽きます。病は、健康状態。貧は、最近社会問題にもなる経済格差。七人に一人は母子家庭で充分な教育を受けられないとか、食べられない、お金に目が眩むという状況。相は、争い事。家の中でも夫婦・親子・兄弟とあり、遺産相続に絡んできたときなどは、もろに人間模様の深い意味が出る。一つだけを取り上げて幸せとは言えず、その人に合った器、分量に値打ちがあるというところに結論を導き出していきます。社会性の中での平均点はどうか、しかし個人的にはどうか。占いの分野では、その個人の問題へと繋げて行く。大抵は、この問題でのご相談が有り知恵を借りたいと来られます。

『四苦八苦』、これは仏教の方から生まれた言葉で、四という字と、八苦の苦を九の数に直して、日本では四は死に繋がりが、九は苦勞の苦であると忌む字として嫌がります。四苦八苦は、生老病死という四つの中味があり、開運を計るには、病・貧・相や四苦八苦のところか

ら答を出していくと運の開きが感じられる。開運をするには運を開く、それには何か原因がある訳で、その内容について話をしていきます。生まれる、生きるということから辛いものがあつて誰でも老いていきます。老いる姿が一番わかるのは顔です。赤ん坊の時の顔、萌える青春時代の顔、社会での戦いの顔、そして疲れてきた顔など人生の百面相。そのまま生きている事実を顔で現わしています。

『煩惱』は、百八と言われています。苦勞でもあり、辛い嫌な事でもある。先程の四苦八苦と、病とは一緒になります。最終的に亡くなっていく訳です。以前は終活と言いつた方については話をしたくない傾向がありましたが、三十年前は、老人ホームへ入りたいと思うと、白い眼で見られました。親を老人ホームに入れると話もできなく、隠れて具体的にやっていかなければならないという時代もありましたが、今は堂々と其れをせざるを得ない社会の変革があります。社会が変わっていくと、

個人も変えざるを得なくなり。老いていく姿の中に運命は必要か。どのようにしたら占いの運命学が生きてくるか。ついでに開運とは、次の光を表わすわけですが、どういう光が他に有るのか繋がらなくてはならないのです。

『百一・四百四病』病は、四百四有る。（これは大雑把な言い方と数字の語路合わせの数字の意味も含まれる）最近では病名も、もつと増えてきています。百は虚構で、一が真実で有る、という運命の一面の捉え方です。百八煩惱の数字の意味は、
一…一年は12か月+24節氣+72候=108煩惱。
二…6（眼、耳、鼻、舌、身、意）×6（總体的に掛ける）=36×3（人生の過去・現在・未来の時間）=108
の見方があります。煩惱は、百八だけでなく、四苦八苦もあり、四苦は、愛別離苦・怨憎会苦・求不得苦。八苦は、五蘊盛苦と言ひ、五つの集合体のようなもの。体や物質、感覚など色々と分けた種類の名前です。人の世に

は、これらが付き纏う訳で、この問題から門を開くには、開運をしなくてはならない。顔で言えば門とは、おでこの額の所にあり、額から入り鼻を通して顎の方まで流れて入って行きます。門の開き方としては、「五術」という占の種類の占法があります。普通は、命・ト・相と三種類を取り上げますが、五術は三種の他に、医・山が入ります。

一 命は、生・年・月・日・時を入れた宿命と言われていきます。宿命とは、本人が自由に変えられるものではなく、与えられたもので、先天という内容のもの。歴史が古くデーターが色々ありますが、開運ができるのは、比較的、相の方の分野なので。
二 トは、色々な道具立てがいますが、吉凶の判断をするのが特徴で、古くは亀甲・鹿占ひ・易がこれに属します。
三 相は、姿・形が有るもので、名相・家相地相・印相・墓相・観相（人相・手相を含む）。
四 医は、漢方の方剤と鍼灸。
五 山は、仙道と言って

超能力の分野で霊的なものは、この分野に入りま

す。これらを研究して、煩惱や悩みのある人を救う、人と人との問題点を絞り出すという、ヒューマンな事ですね。学んでいく上で気を付ける事は、先の事が解ると、自負心が出て目線が違ってきて上からの目線になってしまふことです。まだ我々は、未熟なのでそれから戒めが必要なのです。今日は、開運とをする上で、病という部分を取り上げて顔の分野で話をしたいと思っています。占いの中で、もっともストレートに判るのは、顔であろうと思います。中国の古い人相書には、顔の中に百三十もの部位がありますが、我々岳易館では、六十二部位に絞ります。もう少し絞ると、十二宮と言って十二のグループに分けて覚えていくことが解りやすい。顔を観て、最初に視線を見てあげる。目は心眼と言つて、心の眼なのです。次には眉と眉の間の印堂、又の名を命宮と言つて、命が宿っている所で、命を考えた時に顔は命宮で有る、と言えま

す。ここは心臓・肺臓。体の一番大事な所を意味します。ということは、体全体が顔の中に縮尺されて配置されているのが分かります。また循環器系統の場合もあります。これに九星気学を結び付けていくと非常に為になる。今年の五黄土星生まれの人は離宮に同会し、やや心悸亢進する時で循環器は、どんな具合であろうかは、気学上の判断をしてあげて良いが個人個人、皆違いがあり十人いれば十人、その中で確率的にどうか。大体、過半数の人数が当て嵌まれば、それで良しなのです。少し具合の悪い時は、やや紫色が入り、ひどくなると灰色がかかる蒙色に変わる。人相で蒙色は、肺系統と言われますが、違う色で茶色の、くすんだ色気で艶の無い色の蒙色というのもあります。風邪を引いて熱が出る。熱というのでも心臓の作用です。色を見た場合に、変り方は、最初は綺麗で段々と大きくなり、最後は、くすんだ色になり消えて行くという三段階で変化していきます。また

人形法を用いて配置をする方法があり、顔の中に人の体を入れて、両眉が両手を広げる形になり、印堂が胸の所に当り、もっとも命に関係する心臓と肺です。印堂の少し下にある山根。山根は胃を表わして、胃もたれ、食あたりを観ますが、下痢をするときは山根の胃ではなく、腸の関係なので、準頭という所で観ます。災い転じて福となす。開運を計ろう。などと顔で計ろうとすれば、印堂と山根に象があります。ここは疾厄宮と言ひ、山根の所は厄払い。疾は災いという字でもあり病気の名前でもあります。疫病神や厄介な問題。大病は、印堂・山根で充分に解かる。鼻の上には山根から始まる四ヶ所の名前があります。山根、年上、寿上、準頭。年上・寿上で年寿と呼び、年廻りの一年でがここにあり、寿は寿命。運勢の時は年寿を観る必要があります。年寿は十二指腸・小腸の部類で、準頭は鼻の頭で大腸。下痢をした時は、赤点が出ます。慢性の下痢症のタイプは、少し赤みが鼻の頭に付いてなかな

か取れません。アルコール中毒で鼻の頭が赤くひび割れているのは、腸が荒れている証拠です。腹具合が痛いという場合は、準頭の赤点、赤色の状態を観てあげてください。中心線に掛る程、厳しく、ちよつと横にずれていれば少し我慢ができると見ます。続いては、観骨で頬骨の所に当り、肺炎・肺系統・肋膜です。右身、左身と書いてある所もあるが、これは山根の下、鼻の横で、右身は夫座・左身は妻座のこと。夫婦のことは、魚尾・奸門で観ますが、夫座妻座の部分でも観ますし、この所は肺・肋膜を観ます。鼻頭（準頭）は、肛門・陰部で肛門の場合は痔を見る。鼻孔は腎系統。地閣（顎）は心臓。法令は、小鼻から出て左右に別れる線で、足を意味し、小鼻の脇が股関節で始まり流れて、中間が膝、線の尽きた所が足首と足の裏。また法令は、立場や權威、仕事を表わす。左右一対の所は、必ず比較をしてみる。違いがあり決して同じではない。眉・眼・小鼻・耳など二つ有る所は特徴がある。よく咳の

出る人は、小鼻の脇に黒子かイボが有る人。ここは気管支、喘息系に注意。金甲は睾丸、人中は子宮、口は陰門・肛門。眉毛は、人形法を用いるので、手及び指。魚尾は目尻で、肝臓と腎臓。肝機能の障害が出るような時は、目尻の変化で観るが、基本は配偶者を見る所になっているのでそちらの方に目がいつてしまう。目尻の脇に皺が三本ある場合は上から下に、親・本人・子供と見て、また天地人の配分ある。次に額は、頭そのもので例えば、非常に血圧が高い、卒中の恐れがある場合、額の中間に司空・中正があり、この所が変化する。あとには印堂の赤味を観ます。耳たぶは垂珠と言ひ、腎臓系統で風邪を引くと耳たぶが白くなりますが、これは腎臓系統と関連が有るからで、垂珠が赤いときは、体の機能として安定している。風邪で腎系統が疲れたり、糖尿病の人は、目の下と耳たぶを観てみる。耳たぶが、くすんだ色になっていますが、ここがスッキリした色が出てくると回復の途上です。眉・印堂は、

女性の股関節を表わすが、これは逆人形法の配置を使うと、このようになる。臥蚕・涙堂は、腎系統とホルモン系統。子宮や妊娠などは、臥蚕で観る。一番は日頃、胃腸がしっかりとっているか観る。二番目は血圧、その他卒中の恐れがあるか、あるいは心疾患が出ているかは、印堂・山根を観る。自分の運を悪くしないように気を付ける、これらも一つの開運法です。懸針紋または懸針線と呼び、印堂に縦皺で出る一本線。四十代位になると現れてきます。これは年令を積み重ねてきた印であり、色々と生活を取り切っていること。中央に出るか、眉頭寄りに出るかの場合があるが、中心に向かう特徴がある。懸針とは、大工がノミで打ち込むと言われるくらい刻印がしっかりと出て消えない。テレビなどでは色々な方が堂々と懸針紋を付けています。その人たちは、自分の仕事に対して自負心を持ち、能力のある人が多い。歌手では、前川清さんは有りました。印堂は、こころがあるので。こころは、心・意・魂と

字の表現は違っても、自分の心や意志を表わしたい時に印堂に現れます。立派に成功している人には、自尊心や野心があると意味付けて良い。意志がしっかりしていてリーダー性を持ち、負けない妥協しないが、文句も言う。反面で四難相とも言われ、反逆の相、心毒の相など人相から言い方も一部にはあるが、人相では三権面といって、三ヶ所に有ればそのような決め、二カ所ではその要素があるという程度で軽く見ておく。他に政治家では麻生さん、トランプ大統領は、二本ずつ全部で四本あります。田原総一郎さんにもあります。眉を寄せる特徴があります。それは、判断力があるという事で、誰でもプラスとマイナスの両面があります。ポイントとして、正義感があるという人です。ここをマッサージをするのも良いでしょう。眉頭に眉を顰めていますと、段々縦筋が眉頭に出てきます。眉は兄弟・身内・肉親を表わし、眉の間の印堂は中心の人物を意味して、眉頭を押さえてしまうという

ことは、特に兄弟仲に気を付ける。筋が眉頭からか、下の方の田宅から出ているか見極める。家族・身内を表わす所は、眉・印堂・田宅。子供は地閣を観る。



問 耳にピアスを開けるのは如何ですか。

答 なるべく避けた方が良いでしょう。穴を開けることで風邪に対する抵抗力が落ち、腎・泌尿器系系統を刺激することになります。元々、体質が弱い場合はピアスに依って影響を受けます。

問 魚尾の所に肝臓と書いてありますが、右と左とどちらを捉えたら良いのでしょうか。

答 一対ある場合、右は右、左は左で良い。血管や経絡は、たすき掛けで右脳は左としますが人相での内臓の部分を観るときは、そのままで観てください例えば肝臓が病ん

できますと、そばかすの様に薄墨色が出てくる。両側の魚尾にあるときは具体的には診察を受けてみることに。

次に気学では開運の問題を、どのように見ているかというところ、三つ有りまして、精神・心の働き・体の働きです。具体案として、吉方の取り方、家相の有り方が関係してきます。その為には、基準を設けていかないと納得できないのです。開運には行動が必要となります。相談者があれば、相談者の体を動かすように持つていく。その方法が取れるということとは、気学上であれば方位を取ることになります。病・貧・相を取り上げたということの結果が出るために後に納得することができるようになります。神社仏閣で祈願を致します。これらも開運の対策になっていくのです。まず厄払いがあり災難を免れたい。商売繁盛は金運に繋がります。社会であり日常生活の中の家庭を守り、それを伸ばしていく為の条件として仕事があり、収入があるなどを特に求めている人の場合には一つの目印を与えなければ

ならない。その他、受験・就職など先のことに對しての問題を予測して期待する開運。交通安全・健康・病氣・家庭問題などは、願文は、だいたいこの様な事柄です。基準となるのが五術の中では、相であり現在あるものを変えるという所に開運がある。宿命では与えられたものを変える訳にはいかないので、むしろそれは注意をして守りをするという部分でやや萎縮をさせてしまう。これをよしなさい、こう思いなさい、というのとは現在のこと。方位を求めて、来月は少し良くなるからと、未来に答えを置いた開運とは、現在から未来に掛けての時間帯の中で結果が出るようにしていかなくてはならない時に、占法の中で過去に問題を置いたものは適当ではない。常に先を見て、手が打てるという内容を与えていかなければなりません。では、方位は相に入るのか。水取り、砂取りは一面、相の部分がありますが方位をその人の為に生年月日から選んでいくという点では、命の部分とで折衷する要素はあります。ま

た気という目には見えないものは、医の部分として受け入れていきます。開運とは、その人の幸せのためにある。方法としては、三通りの観点から答を出していくが、本人がその中のどちらの方に、気を入れるか好むかを見ながら絞っていきます。見通しが付いたときには、にこっと笑いが出てきます。その笑いを頂いたら充分に、お話が出来たと思えるのです。本日の結論としては、煩惱と病・貧・相と誰でも四苦八苦を持つている。それを脱出するには、どうしたら良いか。又そういうことある人は、どういう訳かさっぱり型とこだわり型があるのです。その性格を見抜き捉え、最後は、その人柄をどう掴めて話せるかが答えです。

久保田 恵都予

京都の今

大將軍社への訪れ

泰山林翰



京都は日本を代表する観光地です。日本に来る外国人にどこを訪れたいかと聞くと京都が一番だそうです。浅草寺も京都にあると勘違いするくらいだそうで、その人氣は外国人ならずとも日本人である私たちも修学旅行をはじめとして、何度も訪れたくなる古都と言えるのではないのでしょうか。1泊2日の旅でしたがその京都を久しぶりに訪れる機会に恵まれました。京都には数多くの総本山や大本山、歴史ある神社があります。今回の旅では修学旅行生と外国人であふれていた定番の清水寺をはじめ浄土宗総本山知恩院や山城の国一宮であり世界文化遺産でもある上賀茂・下鴨神社などご紹介したい神社をまわらせて頂きましたが、福田有宵先生のもと易経を学ぶものとして、京都北野天満宮近くにある大

將軍八神社をご紹介します。

將軍八神社は、平安京造営の際、陰陽道に依り大内裏（御所）の北西角の天門に星神「大將軍堂」を建て方位の厄災から守護する社として創建された神社であり、平安京ができたところから場所を移すことなく千年以上、方位を司る神様として崇められてきました。大將軍八神社の「八」は、合

祀された神様に由来します。はじめは大將軍のみでしたが、後に大將軍をはじめとした歴に関わる八柱の神様（暦神八神）も合祀されるようになり「八」の字が加えられたそうです。そもそも大將軍神は方位をつかさどる星神様のことで、中国では大將軍と呼ばれ、この神様の方位をおかすと厳しい咎めを受けるとされています。陰陽道信仰の中でも、重要な方忌に關与する神様として崇められ、建築、動土、転居など方位について最も氣を使う事柄に関して、お伺いをたててきたのがこの大將軍八神社だそうです。正面鳥居を入ると本殿の

前に星の台座になっている八角形のモニュメント風の石座が置かれています。そこには「乾・兌・離・震・巽・坎・艮・坤」の八文字が刻まれているのです。先ずはここで感動しました！！今までこうした八卦座を見たことがありません、他のところで八卦が鎮座します神社はあるのかなと考えましたが思い浮かびません。



もちろんこの前で写真撮ります。さらには神社の御朱印には、八卦「乾・兌・離・震・巽・坎・艮・坤」の朱印を押していただけなのです。まるで易经神社みたいだと早速受付所で御朱印をいただきました。さらに授与されるお守りには、八卦の入ったお守りや八卦の小成卦が入った方位除けのお守りなど次々とご利益をいただきました。全国にお守りに溢れており、ありがたく分けて頂くこ

としたのでした。

大將軍八神社で記念撮影をし、そろそろと思っていた矢先に、神社の方が今回は特別に別棟の方徳殿（宝物殿）をご案内し、ましようとお申し出をいただきました。方徳殿は、昭和47年神像80体が

（平安時代から鎌倉時代にかけて奉造された神像）が重要文化財に指定されたことを受け、昭和50年に竣工した宝物を保管展示している施設です。大將軍神像（重文）が立体曼荼羅様に配置され、陰陽道安倍家の古天文曆道資料（府指定文化財）や曼荼羅図が展示されています。神職の方から重要な文化財には手を触れてはいけません、しかし同じ時代に作製された神像ですが欠けたものがあるの

大内裏の北西の地に星神を祀る大將軍八神社は、京都においても、方位除けとして相談を受けた際にはぜひご紹介したい神社であると感じました。皆様も京都へお出かけの際にはぜひ大將軍八神社を訪ねてみませんか。

「東京家政大学ボランティア鑑定会」に参加して

伊東直子

七月二〇日（木）にその鑑定会が行われました。十条下車。女子大に入るのは四〇年振り、そこで鑑定をするのは勿論、初めての経験である。当日は福田先生が急用で来られず有宵会メンバーの四名で訪れた。

キャンパスに入るとそこだけ異空間で、手入れの行き届いた緑の芝生や立派な校舎、暑い日差しはあつたけど爽やかなかなげが吹く。こんな素敵な環境で鑑定できるなんて、それだけでも嬉しい。

福田先生のご友人である中村信也教授という方が授業の一環として鑑定会をするという。事前の打ち合わせで中村教授に「易とは何ぞや」と問いつけられた。それに対し

て何人かでお答えしたが、すぐには的確な言葉が出ずに冷や汗ものだった。気さくに接していただいたけど、何事にもとても真剣に向き合っている方なのだと先生の考えの深さを感じました。

教授が鑑定の希望者を事前に聞いたところ、六、七名だったけど、前回もそうだったけど（去年に続き二年目）当日は二〇人位に増えるかもしれないとのこと。六〇名の教室で教授は講義をやるので、隅の方で鑑定をやるという段取りです。

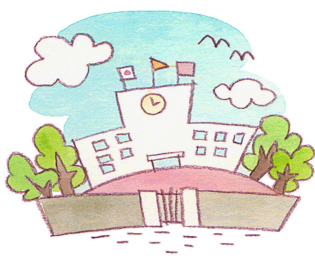
いざ始めると何のことは無い六十名全員が希望し、最初に教授が十分位お話をしただけで鑑定会が始まった。いきなり一人五分の持ち時間になり、秘書の小林蓉子さんが交通整理の様に各ブースを走り回り素晴らしいタイムキーパーぶりを発揮していました。お疲れ様でした。

学生は一白水星から五黄土星の年代でした。まっすぐな視線が無邪気さを伝えてきました。中には「どうぞ」と声をかけるまで立っていたり、見て貰うのが怖いと尻込みす

る人とか：何て純粋なんでしょう。遠い昔にこんな時があったような気がします。

鑑定を終わり、中村先生が学生の鑑定を受けての感想文（レポートの代わり）を見せてくれた。自分の鑑定を受けた方の感想をすぐに確認できることはないの、とても勉強になったし嬉しいことでした。今回は、いかに短時間で相手に伝わる鑑定をするか、傷付きやすい人には直球でなく言葉を選んで接するなど学ばせて頂きました。

中村教授の深い優しさのあるお話や秘書の小林先生の心地良いサポートでとても爽やかな鑑定会になりました。素敵な機会をいただきました。ありがとうございました。



夢のような講習会

大川法祥

その幕開けは新幹線のホームに降り立った時から始まりました。

福田有宵先生自らのお出迎えに恐縮し乍ら、宿泊先の日暮里「ホテルラングウッド」へ。荷物を預けそこで合流した佐藤宗眩先生、清水奏琉さんと先ずは浅草寺様へお参り。

数年ぶりに訪れた浅草寺の仲見世通りは時代の流れを如実に反映して様変わりの様相。外国人の方々が圧倒的に多く季節に相應しいゆかた姿に身をやつし、喜々としてカメラに納まったり、真剣な表情でお祈りしたりして日本情緒を満喫されていました。

恭しく本堂に入りご本尊様に手を合わせ健やかな日々を過ごせる幸せと使命を適えるべく上京し、こうしてお参り出来たことへの感謝の念を述べ乍ら、深い祈りを捧げました。

老舗の「川松」で食事を終えて外に出れば、すぐ近くに「東京スカイツリー」の雄姿が・・・、招き寄せられる如く、

気が付けば私達はその入口に立っていました。思いのほかスムーズに上れ幸運でした。眼下に広がる都内のビル群の壮観さはまるでジオラマの様・・・そこには命の躍動や息吹は感じられない無機質の世界、明日は東京都議選がある等の喧騒すら想像できない世界が広がっていました。

見晴かす前方には二重の綿帽子雲を冠った霊峰富士山が・・・神々しく美しいお姿にしばし見とれ佇んでいました。

滅多に見れない映像をくつきりと睨に焼き付け展望階を一巡大東京のパノラマに感動しつつ再び富士山を見ると、もうそこには、先程の姿は無く、垂れ込めた灰色の薄雲に覆われ、つい先程見た霊峰の姿は見る事が出来ませんでした。瞬時に変化した異様にスピリチュアルなものを感じた一瞬でした。

翌七月一日(土)綾瀬駅前会場「ブルミエ」にて講習会が二時より始まりました。

土曜会・湯島聖堂での聴講者・綾瀬教室・新宿教室・四谷教室等で学ぶ

精鋭の方々の熱意ある眼差しを感じ乍ら心を込めて講義を始めました。私にとつては永年実占を重ね分身の様な「数命学」であつても、初めての方々に解り易く伝えるボキャブラリーのむつかしさを感じ乍ら既定の五時迄の時間はアッ！と言う間に迫って参りました。

漸く解りかけ。興味の湧き出した処での終了にもどかしさを感じ乍らも、皆様の優しさと喜びを享受できた事は貴重で幸せな時間でした。

終了後は近くの居酒屋で懇親会。楽しい時間は夢のように流れていきました。

ホテルに帰りもう一泊、ゆったりと満ち足りた時間を優雅に過ごせる幸せに感謝しつつ、まどろみの世界へ・・・。

思いも及ばなかった今回の企画は、福田有宵先生の運命学に対する深遠な御考えからでした。

私の恩師、石本有孚先生、数命学の発案者松本友次先生、御二方の深い想いを受容され、温かい手を差し伸べて下さいました福田先生。亡き御二人の恩師も泉下でさぞか

し御喜びの事で御座いましょう。共に深い感謝をこめてー

心より御礼申し上げます。――合掌――

NPO通信

江東区サマーフェスティバル

去る八月五日江東区砂町文化センターにて日本占術協会と協賛で無料鑑定会を行いました。

大変好評で毎回楽しみになさつておられるという常連の方を何人か見かけました。当日の相談者総数百六十八名と過去の記録をオーバー致しました。当日の出演者(順不同敬称略)福田有俊・久保田恵都予・金原太郎・半田晴詠・山田倫子・川又早苗・佐藤宗眩・協会の先生お二人。

三鷹国際フェスティバル

九月二十四日(日)井之頭公園内の特設会場で無料鑑定会が行われました。大変な賑わいで、天候にも恵まれ大好評でした。



た。



相談者総数百五十七人でした。今迄の鑑定者数では最高数でした。

当日の出演者(順不同敬称略)泰山林翰・松浦優・金原太郎・凜百果・手塚唯次・川又早苗・綿引涼子・山田倫子・福田有俊・福田有宵・佐藤宗眩。

郵政博物館(ソラマチ)

無料鑑定会



九月十六日～十一月二十六日まで行っております。無料入場券あります！

江東区古石場文化センターまつり

十月十五日(日)無料鑑定会がございますので、鑑定士を募集しておりますので、希望者は事務局までご連絡ください。



事務局だより

次回の例会

日時十一月二十七日(月)

午後五時十五分より

場所足立区勤労福祉会館講演室 福田有宵

二十九年年度の回顧

行事予定

西の市 十一月六日(月)

午前 十時三十分集合

午後 六時 集合

第三十九回シンポジウム

(二社)日本占術協会

十月二十二日(日)

王子 北トピアにて

参加自由です。

会費五千円

前回の例会には七十一名の方が参加されました。

二十九年も残り少なくなりました。国内外ともに

自然災害や事件等不安材料が多くありました。来る

年が穏やかな年でありますよう・・・願うのみ

です。

少々早いご挨拶になりますが、本年もご協力有難う御座いました。

注意

十一月の例会は二十七日(月)夜五時十五分

からですので、お間違いないようご出席ください。

伊藤璃香